

科目コード 900031 (学外実習A) または 900032 (学外実習B)

学科 学年	E4ま たは E5	科目 分類	学外実習A,B [学実] Off-Campus Training A,B	実習 選択	集中 2(A)また は1(B)単	学習教育 目標 D	担当	望月 孔二 MOCHIZUKI Kouji
概要	夏期休業中に2週間(A)または1週間(B)の期間、企業または研究機関等において実習を行い、生産現場または研究機関等における研究、開発、生産活動を認識、体験することにより工業技術を体得する。							
科目目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の中で働くことにより労働観、職業観を育成する</li> <li>・現場において実践的感覚を養う</li> <li>・学問の実際的な意義を認識する</li> </ul>							
教科書 器材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修の教材は沼津高専の「学外実習のしおり」</li> <li>・実習中の教材は実習先による</li> </ul>							
評価の基準と 方法	事前・事後研究での学生の対応や提出された報告書と、企業担当者の評価を総合して評価する。							
関連科目	電気電子工学実験をはじめとする全科目							
授業計画								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教官(通常担任)が、本人の希望を考慮しつつ、受け入れ可能な企業を選定する。</li> <li>・企業への依頼は、教務係を通じて行う。</li> <li>・実習内容は、企業側担当者と協議し決定する。</li> <li>・その後の指導は、企業に依頼する。</li> <li>・また、実習生としての様子、成果等の報告についても依頼する。</li> <li>・実習終了後に、本人から実習内容、成果の実習報告書を提出させる。</li> </ul>								
オフィスア ワー	望月教官は昼休みは公務を除いて教官室に居るため、質問がある学生はその時間を利用して欲しい。 研修が主に行われる夏休みは、教官は出張やお盆休暇や長時間にわたる研究室での実験をすることがあり電話連絡が付きにくいことがある。その場合、通常の連絡には電子メールやFAXが好ましい。その日のうちに連絡が必要なら教官自宅への連絡も確実である。なお、緊急連絡に際して担当教官と連絡できない場合は、学生係(055-926-5734)に連絡のこと。							
備 考	平成16年度のE科内の担当は、E4担任の望月孔教官である。 望月孔の連絡先:e-mail mochizuki-k@numazu-ct.ac.jp 電話とFAX 055-926-5815							